

千葉市 手をつなぐ育成会だより

第 172 号
令和 6 年(2024) 3 月 7 日
千葉市手をつなぐ育成会
会長 成田 智子
千葉市稲毛区作草部2-4-5
でい・さくさべ 2 階
TEL・FAX 043-206-4050
✉ chibacity-hands@ikusei-kai.jp



「我が子のライフステージを考えるⅡ」研修会 7/3



せいかつ委員会「話そう会」10/4



「我が子の権利を知る」研修会 9/4



千葉みなと駅前
啓発活動参加 7/3

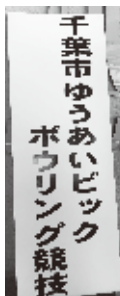


あんしん委員会「非常食体験会」9/25



クリスマス会 12/10

2023年度 育成会の主な活動



千葉市ゆうあいピック
ボウリング競技



「グループホームの誕生・今・未来を知ろう」研修会 11/22

令和3年度には、「JR/京成稲毛地区」、令和4年度には「千葉都心地区」において具体的なバリアフリー化にむけた事業を位置付けるために地区別バリアフリー基本構想を策定。ワークショップや事業者との合同意見交換会では、特に、公共交通特定事業に関して、インターホンなどの設備の明確さ、人的配慮の必要性、

令和3年度には、「JR/京成稲毛地区」、令和4年度には「千葉都心地区」において具体的なバリアフリー化にむけた事業を位置付けるために地区別バリアフリー基本構想を策定。ワークショップや事業者との合同意見交換会では、特に、公共交通特定事業に関して、インターホンなどの設備の明確さ、人的配慮の必要性、

令和3年度には、「JR/京成稲毛地区」、令和4年度には「千葉都心地区」において具体的なバリアフリー化にむけた事業を位置付けるために地区別バリアフリー基本構想を策定。ワークショップや事業者との合同意見交換会では、特に、公共交通特定事業に関して、インターホンなどの設備の明確さ、人的配慮の必要性、

令和3年度には、「JR/京成稲毛地区」、令和4年度には「千葉都心地区」において具体的なバリアフリー化にむけた事業を位置付けるために地区別バリアフリー基本構想を策定。ワークショップや事業者との合同意見交換会では、特に、公共交通特定事業に関して、インターホンなどの設備の明確さ、人的配慮の必要性、

令和3年度には、「JR/京成稲毛地区」、令和4年度には「千葉都心地区」において具体的なバリアフリー化にむけた事業を位置付けるために地区別バリアフリー基本構想を策定。ワークショップや事業者との合同意見交換会では、特に、公共交通特定事業に関して、インターホンなどの設備の明確さ、人的配慮の必要性、

知的障害のある人への適切な対応についての職員の研修会の必要性について、お話ししました。

知的障害のある人への適切な対応についての職員の研修会の必要性について、お話ししました。

知的障害のある人への適切な対応についての職員の研修会の必要性について、お話ししました。

知的障害のある人への適切な対応についての職員の研修会の必要性について、お話ししました。

知的障害のある人への適切な対応についての職員の研修会の必要性について、お話ししました。

知的障害のある人への適切な対応についての職員の研修会の必要性について、お話ししました。

知的障害のある人への適切な対応についての職員の研修会の必要性について、お話ししました。

笑顔とふれあいのクリスマス会

昨年12月10日(日)療育センターにてクリスマス会が開催されました。参加者は154人(本人52人、親・支援者102人)でした。

クリスマス会は、1時〜、2時半の2回に分け、ステージではハンドベルサークル「メリーベル」によるクリスマスソングの演奏、「大江戸玉すだれ佃川 美乃里会」の玉すだれラジオ体操などの楽しい演技と、玉すだれ体験をさせて頂きました。

「メリーベル」さんの心のこもった演奏、この日の為に沢山練習されたと思います。素敵な演奏、ありがとうございました。



ボランティアさんと一緒に



「大江戸玉すだれ佃川 美乃里会」の方々と一緒に

争に代わり、今回はパンの代わりにぶら下げた袋菓子を取って手で取るものに変更。それぞれのペースで「よいいどん」、みんなお菓子目指して走りまわった。更にその場で作って下さるバルーンアート、最後にクリスマスプレゼント、盛りだくさんでした。



育成会のうごき 11月~2月

- | | |
|--------------|---|
| 11月7日 | 【全育連】第14回権利擁護セミナー |
| 17日 | ふれあいの家利用団体意見交換会 |
| 18日 | 第57回手をつなぐ育成会関東甲信越大会栃木大会(P.3) |
| 22日 | 研修会「誰もがのまに地域で暮らす」グループホームの誕生・今・未来を知ろう(P.2) |
| 26日 | こども委員会バラスポーツ体験会(ボウリング編入門・初級)(P.3) |
| 27日 | 美浜区おしゃべり会 |
| 28日 | 千葉県手をつなぐ育成会権利擁護委員会 |
| 12月1・4・6・15日 | 各区おしゃべり会 |
| 2日 | 第25回千葉市障害者福祉大会 |
| 5日 | 地区別バリアフリー基本構想(千葉都心地区)の策定に向けた地区、事業者合同意見交換会 |
| 10日 | クリスマス会 |
| 13日 | 令和5年度第2回障害者施策推進協議会・第1回障害者差別解消支援部会 |
| 14日 | 令和5年度(社福)千葉市社会福祉協議会第2回評議員会 |
| 26日 | 第10回バリアフリー基本構想推進協議会 |
| 1月14日 | こども委員会バラスポーツ体験会(ボウリング編入門・初級) |
| 27・28日 | 【全育連】全国大会愛媛大会 |
| 29日 | 千葉県手をつなぐ育成会権利擁護委員会 |
| 2月7日 | 令和5年度千葉市における成年後見制度利用促進に係る地域連携ネットワーク協議会 |
| 12日 | 第4回こども基本条例検討委員会 |
| 15日 | 千葉市立養護学校令和5年度第2回学校評議員会 |
| 16日 | 千葉大学教育学部附属特別支援学校第3回学校評議員会 |
| 18日 | こども委員会バラスポーツ体験会(ボウリング編入門・初級) |
| 26・28日 | 各区おしゃべり会 |

この広報紙は「赤い羽根共同募金」の助成により発行されています。



(広報部 西村)

◆令和5年5月から7月にかけての大雨災害につきまして、義援金のご協力をありがとうございました。育成会会計より2千5百円を加えて7万5千円を(二社)全国手をつなぐ育成会連合会災害支援金口座へ送金致しましたことをご報告します。

◆令和6年能登半島地震により被害にあわれた方々には謹んでお見舞いを申し上げます。

1月の定例発送にてご案内しております義援金へのご協力も引き続きよろしくお願いいたします。

◆今年の祈りを願う元旦の揺れは被災された方々のみならず国民の心を激しく揺さぶりました。災害弱者の私達の子どもを思うと身につまされます。風が冷たい被災地で凍える体と心に温かい支援が積もり、一刻も早い復興で日常に戻りますように。(広報部 丸山)

◆29年前に阪神・淡路大震災で被災された方々が、涙を浮かべながら能登半島地震の被災者の方々の身を案じて話をされているところをテレビで見ました。消える事のない大きな痛みと大きな慈愛。私も陰ながらみんなが平穏で幸せに過ごして欲しいと願っています。(広報部 西村)

誰もがあらゐのままに地域で暮らす

グループホームの誕生・今・未来を知らう



荒井 隆一氏

昨年11月22日(水)でい・さくさへにて、(社福)ロザリオの聖母会・ナザレの家あさひ所長、日本グループホーム学会代表の荒井隆一氏をお迎えし、「誰もがあらゐのままに地域で暮らすグループホームの誕生・今・未来を知らう」の研修会を行いました。参加者は57人でした。

◆ **グループホーム(以下GH)の誕生について**

1960年代後半から70年代にはコロニーといわれる巨大施設が各地に新設され、障害者だけが多数集められて住むという異常な状態が長く続きました。その後ノーマライゼーションの考え方から、70年代半ばに自治体にGH



の試みが始まり、通勤寮、福祉ホーム、生活ホームを経て、89年に知的障害者地域生活援助事業(GH)が制度化されました。

その概要は障害のある方が地域住民との交流が確保される地域の中で、家庭的な雰囲気の下、共同生活を営む住まいの場で、一つの住居の利用者数の平均は6名程度とうたっています。

◆ **GHの今について**

GHは現状「介護サービス包括型」「外部サービス利用型」「日中サービス支援型」の3類型があり、定員数や人員基準等(世話人、支援の内容、報酬等)の違いがあります。「日中サービス支援型」のみ夜間の支援が義務付けられています。

GHの入居者数は、今や17万6千人(23年6月現在)を超え大幅に増えてきましたが、地域によって、サービスをj受ける権利・公平性に格差があります。また、本来、利用者が先において事業所があるべきなのに対し、事業所が、夜間支援や看取りや埋葬などのサービスの内容を選べるようになっています。

関東甲信越大会 栃木大会

昨年11月18日(土)、第57回関東甲信越大会が栃木県宇都宮市で開催されました。多数のご来賓をお迎えして式典が行われ、全体会では中央情勢報告がありました。

第1分科会 障害のある人をまもるために育成会の活動を

障害者権利条約の2022年初回対日審査に同行された関哉弁護士の基調講演では、自立した生活と地域社会の参加、教育に関してなどの主な懸念事項と「人権モデルに基づくべきであること」様々な分野において障害当事者の参加を求めている」などの提言が。

自分らしくこの地域で暮らしたい

シンポジウムでは、①啓発活動は「人」に向けての投資であり人権教育にも通じる②



本人部会は「ひまわりの会」の皆さんによる色とりどりの衣装や小道具を手に笑顔いっぱいミニコンサートでした。



(一社)全国手をつなぐ育成会連合会 佐々木 桃子 新会長

保護者がどの段階で「権利擁護」について考えるか③知的障害者の恋愛・結婚のケースの紹介。

最後に、2024年4月からの障害者差別解消法改正による合理的配慮の民間事業者義務化については、育成会が知的障害者についてどのような配慮が必要かを訴えていくことが必要であると締め括られました。(会長 成田)

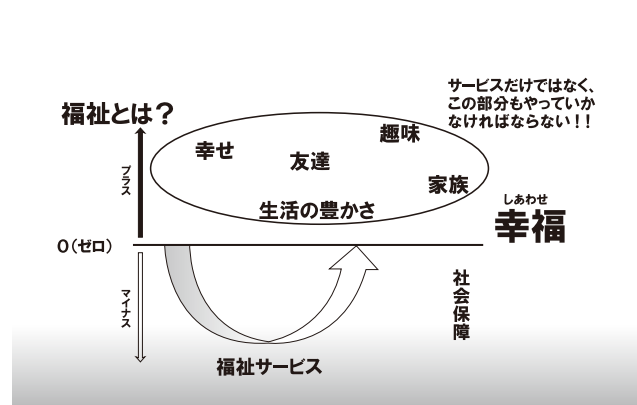
第2分科会 教えて！ 私たちの子どもの卒業後の暮らし

(社福)同愛会 菊地理事長より、卒業後の福祉サービス、入所、就労などさまざまな進路先に関しての基調講演がありました。シンポジウムでは、栃木市保健福祉部障がい福祉課 厚木氏からは、緊急時に安心、安全な支援に繋げるための事前登録制であり、地域移行や自立等にあたり一人暮らしに向けて支援を行う栃木市の地域生活支援拠点について、(社福)昂丹羽理事長からは、さまざまな形態のグループホーム展開について、重度の障害のある人も地域の担い手となっていること、国立のぞみの園 根本氏からは、健康管理のお話がありました。(副会長 大里)

元々の制度も本来はソフトの機能(支援内容)として考えられていたが、まだまだハード的な要素(建物)が強く残っています。

◆ **GHの未来について**

どこで誰とどのような暮らしをするのかをしっかりと保障すること、建物に関しては個別に契約する仕組み、その住んでいる場所に対して支援が入れるような仕組み、長時間支援できるような仕組み(重度訪問介護)と随時で支援できるような仕組みの両立、所得補償をしつかりと考える(家賃扶助など含め)等、昼間の支援も含めて抜本的な見直しが必要です。



障害のある子のきょうだいのために

大事なことは

昨年10月29日(日)、全国きょうだいの会(略称)60周年シンポジウムが開催されました。

各地域の育成会と自閉症協会から親の立場として8名が参加し、親ときょうだいの本音、家族の幸せについてどう話していけるか、を話し合いました。きょうだいの立場の方々にはそれぞれの家族の形から、それぞれの想いがあり、悩みやきょうだいに対する愛情な

めざせ！ ゆうあいピック金メダル

1月14日(日)、こども委員会企画「めざせ！ゆうあいピック金メダル(ボウリング編入門・初級)」へ参加しました。場所はゆうあいピックと同じ千葉中央のアサヒボウリングセンター、今回は二回目の開催ということで、息子も開催前からとても楽しみにしていました。前回より参加者が一人増え、高等部男子四人での熱いゲームとなりました。入門・初級編ということで、まずはボウリングに触れる、慣れる、楽しむを目的としている為、ガタりなし

今後、入所施設の在り方や、共同生活援助の整理や、必要とされる社会資源の在り方など、障害者の「住まいの場」に関することを、利用者本人も参加して議論する場を設置するべきです。

GHは本人が選び、自分で家賃(部屋代)を払い、地域の一人として暮らすことを決めた生活の場です。普通の暮らしがしたいという本人の願いに寄り添った支援をしていきたいです。

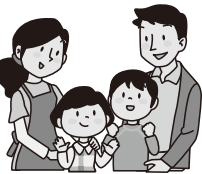
少人数であるということと管理性(効率性)の排除は、GHの命です。「福祉」とは、幸せという意味をもつ二つの文字で表されています。障害によってもたらされたマイナスを、福祉サービスの社会保障によってゼロに戻す。それだけでは無く、プラスの部分も支援していくことが「幸福」につながるのです。(図参照)

出来ない支援が無いように、GHの仕組みを見直し、本人や親が安心して利用出来るように、皆で考えていかなければなりません。

◆ **感想**

今回の研修会では、荒井先生の熱い思いのこめられた貴重なお話を聞くことが出来ました。我が子のこれからの暮らしを考える上で大変参考になりました。ありがとうございました。

(研修部 村井)



どをお話ししてくださいました。私たち親にとっては「障害の子のきょうだい」ではなく「我が子」。大切な我が子には幸せになってほしい。それが心からの願い。しかしそれは、親が子へわかるように伝えなくてはならないことで、時には、きょうだいの立場の我が子とだけお出掛けしたりおしゃべりや楽しむ時間必要だと改めて感じました。家族の中で、きょうだいの立場の我が子が何でも言えるような雰囲気づくりも親がしましょう。親なきあとのことはしっかりと。(会長 成田)

のバンパーレーンでのゲームでした。初めての場所に戸惑う人、二度目ですんずん進む人、ボウリング滑り台を試してみる人、それぞれがそれぞれのやり方で楽しんでいました。大人になつてからの余暇活動にもお勧めです。(こども委員会 神山)

